

久米っ子だより

2025年12月13日 第16号

<https://kuwana.schoolweb.ne.jp/24020013>


よりよい久米小学校をめざして ～児童アンケートより～

第12号でお知らせしたように児童アンケートの結果についてお知らせします。職員会議で、保護者アンケートと児童アンケートの結果について全職員で情報共有し、今後のあり方について協議・検討をしました。また、協議内容についても具体的に共有し今後活かしていくことを確認しました。よりよい久米小学校をめざして、皆様の「声」を学校運営に反映していきたいと思いをします。

【児童アンケート集約】

回答数：237（回答率97.1%）

①	学校にくることは・・・	いつも楽しい+楽しい	90%
		楽しくないことが多い+楽しくない	10%
②	きちんと あいさつが・・・	できている+できていることが多い	89%
		できていないことが多い+できていない	11%
③	自分には いいところが・・・	たくさんある+ある	72%
		あまりない+ない	28%
④	授業は・・・	よくわかる+わかる	85%
		わからないことが多い+わからない	15%
⑤	友だちのことを・・・	大切にしている+大体大切にしている	98%
		あまり大切にしていない+大切にしていない	2%
⑥	困ったことや心配なことは先生や友だちに・・・	相談できている+相談できることが多い	74%
		相談できないことが多い+相談できない	26%
⑦	先生は自分たちの話や意見を・・・	しっかり聞いてくれる+聞いてくれる	94%
		あまり聞いてくれない+聞いてくれない	6%
⑧	家で学校のことを・・・	よく話す+時々話す	82%
		あまり話さない+話さない	18%
⑨	大人になったら〇〇したい ・・・〇〇になりたいという夢が・・・	ある	60%
		ない	17%
		わからない	23%
⑩	失敗してもいいから いろいろなことに・・・	どんどん挑戦している+挑戦している	87%
		あまり挑戦していない+挑戦していない	13%

【①について】

1割の子どもたちが学校にくることが楽しいと思えない状況であることを憂慮しています。否定的な回答は昨年度より減少していますが、どんな状況が楽しくないと思わせているのか検証していく必要があります。結果について職員全体でしっかり受け止め、「子どもが主語」の学校づくりに向けて具体的に取り組んでいきます。

【②について】

およそ9割の子どもたちが「できている」と答えました。昨年度よりも肯定的な回答が増加しています。あいさつは家庭教育の部分でもありますが、学校でも毎月初めのあいさつ運動や日頃のあいさつ指導などを大切にしていきたいと思いをします。

【③について】

28%の子どもたちが否定的な回答をしました。昨年度より微増しています。自己肯定感・自己有用感の低さが表れていると思います。学校生活の中で子どもたちの自己決定に基づいた取り組みや発言等について、「認める」「褒める」「共感する」ことを意識して、子どもたち自身が「これでいいんだ」と思えるような関わりをしていきたいと思います

【④について】

85%の子どもたちが肯定的な回答をしています。「自由進度学習」「反転学習」など、学びを深める授業改善を行っている成果が一定出ているのかなと思います。一方で15%の子どもたちが否定的な回答をしています。これを教員の授業のあり方に対する子どもたちからの評価と考え、「学びが楽しい」「学んだことがわかる」と感じられる授業改善を進めていきます。

【⑤について】

昨年に引き続き、多くの子どもたちが肯定的な回答をしました。同学年だけでなく異学年の友だちも大切にしている様子は日々目にすることができます。時にトラブルになることもありますが、解決への過程の中で、より友だちを大切にすることを強めてくれたらと思います。今後とも日々の学級経営や学校行事等を通して仲間づくりの一層の充実を図っていききたいと思います。

【⑥について】

昨年度の児童アンケートで一番気になった設問です。今年度は肯定的な回答が増加していますが、それでも25%の子どもが「困ったことや心配事を先生や友だちに相談できない」と回答しています。小学生といえども価値観はそれぞれ違いますし、子どもたちを取り巻く状況も様々ですので、学校生活において心配事や悩み事はつきものです。そんな中、相談がしにくいというのは大変心が痛いです。⑤と⑦の設問で90%以上の子どもたちが肯定的な回答をしながら、困り事や心配事はなかなか相談できないというのはどういう状況なのか、全職員でこの結果を重く受け止め、「何か気になることがあればいつでも相談してね」と言うだけでなく、日々子ども観察から気になる様子が見られたらこちらから声をかけていくことで、気軽に相談できる雰囲気をつくっていききたいと思います。

【⑦について】

昨年に引き続き、90%を超える子どもたちが肯定的な回答をしました。数値だけを見るとよい結果と判断できるのですが、⑥の結果と合わせて考えたとき、ただ「聞く」だけでなく「聴く」ことはできていたのかという疑問が頭をよぎります。学校生活全般を通して、子どもたちが安心して教員に話ができる「雰囲気」をつくり出していけるよう努めて参ります。

【⑧について】

82%の子どもたちが肯定的な回答をしました。学校であったことや楽しかったことを嬉しそうにご家族の方に話す様子が目に浮かびます。子どもたちからの話は、保護者の皆様に学校のことを知っていただく一番身近な方法だと思います。毎日お忙しいとは思いますが、子どもたちからの話にできる限り耳を傾けていただけたらと思います。

【⑨について】

今の段階で将来についての明確なビジョンがあった方がいいということではありません。ただ、いろいろなものを見て、聞いて、経験をすることで、人生には多くの選択肢があっいろいろな生き方があると知ってほしいです。家庭生活や学校生活の中で、人生には様々な選択肢があるということを感じてもらえるような取り組みをしていきたいです。

【⑩について】

肯定的な回答が昨年度より増加しています。2学期の始業式で「幸せになるためのくめっ子宣言」を子どもたちと確認しました。宣言の一つ目は「やってみよう！」です。初めてのことや苦手なことに対しては大人も子どもも挑戦しづらいのは仕方ないです。「とりあえずやってみよう」と促すことはもちろんですが、やってみようと思える「場の設定」を工夫していききたいと思います。